

発表演題登録規定

1. 演題の募集・登録と発表区分

日本吃音・流暢性障害学会（以下、当学会）では、研究者による調査・研究活動の他に、吃音当事者の発表枠を設けており、吃音・流暢性障害に関する当事者の心理や地域や社会での組織活動・経験活動などを発表することができる。

【発表区分】

登録演題の RA と EA への区分は大会事務局またはプログラム委員会にて判断する。

・調査・研究活動（RA：Research Activities）

客観的基盤に基づいた理論（仮説を含む）、観察・調査および実験等によって得られた反応（事実）をデータ化し、過去の資料を踏まえて論理的に考察し、一定の知見を導いた活動実績。

・体験・社会活動（EA：Experiential Activities）

吃音・流暢性障害に関する、当事者に資する疑問点の解明、当事者および関係者との心理的共有及び社会的意義を見出すための活動実績（いわゆる当事者研究）。

2. 演題登録資格について

原則、「演題申し込み時点までに本学会の正会員・学生会員のいずれかであること。」

各年度大会（以下、当該大会）において演題発表を行う場合、当該大会事務局による演題登録規定に従って登録する。

3. 発表形式

口頭発表とポスター発表がある（当該大会の規定による）

原則、発表者は筆頭演者が行う

4. 登録方法と登録規定（原則；詳細は当該大会の規定による）

・登録方法：当該大会事務局によって公表（HP 等）される。

・登録規定

氏 名：筆頭演者・共同演者のフルネーム

所 属：筆頭演者・共同演者の所属機関

演題名：50 文字以内

抄録本文：

①500 字以上～800 文字以内で活動実績をまとめる。

②「目的（はじめに）」、「方法」、「結果（成果）」、「考察（まとめ）」の項目を入れる。

③調査・実験研究の結果または何等かの活動を終えた成果（活動実績）について、発表内容の区分（枠参照）を選択して作成する。

④原則、大会 HP から登録し締切期日までは修正や確認が可能である（抄録文は当該大会のプログラム・予稿集にそのまま掲載される）。

【発表内容の区分】

吃音の原因論探求、吃音のある人の病態生理、吃音のある人の心理、吃音の評価、吃音のある人の臨床・教育・支援、吃音のある人の就職、セルフヘルプグループ、発達性吃音以外の流暢性障害（クラタリング、獲得性吃音、他の障害との合併または併発など）、保護者支援、地域・社会への啓発、その他
* 区分は当該大会事務局によって変わる場合がある。

5. 利益相反（COI）について

利益相反(COI)が筆頭ならびに共同演者の中の1人以上にある場合は、発表者の利益相反(COI) 申告書の書類を記入する。原則、書式は当該大会 HP にてダウンロード可能。

利益相反（Conflict Of Interest）

複数の利害関係者がいる活動において、何等かの利害関係によって両者の間に利益・不利益の関係が生じている（生じる）状態。調査・研究または体験・社会活動において利益相反が生じる場合は申告する。

6. 倫理的配慮

人を対象とする研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従っている必要がある。最新版は以下の URL にて確認できる。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/index.html#m-naAncTarget01>

7. 個人情報の取り扱い

個人情報の保護については、抄録文作成時および発表時（採用された場合）に注意する。

8. 演題の受理・採択

登録された演題は大会事務局または当学会プログラム委員会で適切な手続きが行われる。

登録された演題は登録規定に従って「受理」され、その後、当該大会長（大会事務局等）によって「採否」が判定される。

[受理] 登録規定に従っていることが条件

登録規定に従っていない場合（文字数制限や項目立て等）、大会事務局から再提出を求める場合がある。その際、大会事務局またはプログラム委員会が受理に向けてサポートする。

[採否] 内容に関して、当学会または当該大会の趣旨・テーマ等に基づき、当該大会の大会長（大会事務局または当学会プログラム委員会）によって判定される。

プログラム委員会

改訂：2023年11月27日